

# 磐城時報

編集者 石城郡平町新屋町十四番地  
印刷所 石城郡平町新屋町十四番地  
電話 二五〇番  
代印所 石城郡平町新屋町十四番地  
電話 二五〇番  
印刷料 一行十四字 五拾銭  
日刊 (日曜、祭日) 休刊

## 平水道擴張工事

### 愈々二十日頃着工

#### 委員連日奔走の結果 土地買収も意外に進捗

平町上水道擴張工事は鐵管の購入も決定し後はセメント並に用地の買収さへ決まれば直ちに着手出来るのでセメント用地の各部委員は連日委員會を開き買収價格の協議をなしてゐるが、平町釜屋商店諸橋久太郎氏の手を経て磐城セメント會社より一樽二圓七十五錢で購入と決定するもの、如く、又用地は好間村當局が隣同志の故をもつて地主側と平町當局との間を斡旋し契約の促進を計つてゐるので又意外に早く交渉成立するらしく觀測され、結局工事に着手するの日は二十日前後と見られてゐる。

## 平稅務署の

### 町村交附金

平稅務署管内各町村に對する昭和五年度交附金前期分左の如し(單位錢)

- ▲平一、〇七二、六八▲飯野五
- ▲八六▲鹿島一〇二、二〇▲交附を受ける段取となつたが、
- ▲江名九六、四七▲豊間七六、九
- ▲二▲高久九五、八八▲夏井一
- ▲九、三三▲神谷一一、七七八
- ▲草野一八四、六九▲大浦一一
- ▲九、四九▲倉九四、四〇▲大
- ▲野一三〇、一一▲平窪一一八、
- ▲五八▲赤井一〇九、七六▲下

## 磐城丸

### 九萬圓で改築

縣水産試験場の試験船磐城丸は腐朽したので縣商工水産課では明年度において新たに建造する計劃を立て新豫算に要求した、これによれば工費九萬八千圓を投じ全部鋼製とし五百馬力の望々たるものに改築せんとするものである。

## 湯本消防

### 非常召集

石城郡湯本町消防組では十一日午後四時非常召集を行つたが、五、五三▲川部九三、六一▲勿來二二三、三二▲錦一五七、九二▲山田一一三、四七▲植田一七七、〇一▲渡邊八〇、二九▲泉一七九、七八▲玉川一四二、二〇▲小名濱一一七、六七内二十名で成績良好であつた。

## 四倉漁港修築案

### 寄附問題で宙に迷ふ

縣では十萬圓を要求するが、地元では二萬圓以上は不可能

四倉漁港修築問題に對し縣は既向で、それ以上支出する時は町の報の如く明年度豫算に計上する財政は破綻のやむなきに至るとのこと、縣に對し、國庫補助も大体いふ事情にあるので、目下縣當局の現況を見るに平年より三割の削減が見られ、日拂戻し額も例年比で約半減である、併するから愛媛家は喜んでゐる、小川間乗合自動車を目黒政雄(谷川忠雄)は、この部部に重傷を負つたが、昨午九時死亡した。

## 石城郡の酒造見込み

### 昨年より五千石減

酒の賣行きが悪くて 酒造家持て余す

石城郡に於ける酒造家は現在四乃至八千圓を下らない現況であるが、平稅務署ではと田村平郵便局長の話である、十月一日現在でその蔵石高を調査した處、八千九百七十一石で昨年同期の八千七百七十一石と比較すると八百九十石だけ多い、これは財不況のため賣行きが悪く、酒造家は酒造期を終へて酒の手持ちをなすものも多く本年の酒造見込みは一萬三千四百六十二石で、前年度の一萬八千九百五十八石に比較すると五千四百九十六石の減少である。

## 平町の現在人口

### 十年間で四千五百名増加

國勢調査の結果を判明

平町では目下國勢調査統計を取らなかつたが、人口二萬四千五百を突破することは確実となつて、第一回の去る大正九年の二萬七千七名に對し十年間に四千五百名の増加となるわけである。

## 郵便貯金の

### 拂戻し激増

郵便貯金利率引下げ實施と共に據置貯金の期間に満たざるものでも特にこの際は仙臺逓信局長の許可を得て拂戻しが出来るので十月一日以來貯金拂戻し額が平素に比して著しく多く平郵便局の現況を見るに平年より三割の削減が見られ、日拂戻し額も例年比で約半減である、併するから愛媛家は喜んでゐる、小川間乗合自動車を目黒政雄(谷川忠雄)は、この部部に重傷を負つたが、昨午九時死亡した。

## 愈々明日

### 報知機来る

報知機は十二日午前九時頃郡山から飛來する事既報の如くであるが、平上空で低空飛行の際平町に敬意を表するため平町長宛の通信筒を投下する筈である、之を拾得したものは平町役場に届け次第記念メダルと引換える由である。

## 血液無料検査

平町拂下げを受け團の財産を造成し、同時に拂下げも中止したの鼻の薬「チクノール」

## 乗合自動車轉覆

### 消防手一名死亡

平町字播磨小路地自動車部平川村大字小川字植ノ内消防手長小川間乗合自動車を目黒政雄(谷川忠雄)は、この部部に重傷を負つたが、昨午九時死亡した。

## 酌婦の搜索願

### 自動車の検査

御館村金太郎長男宗像金平(三〇)は十日午後十時頃自宅の自家用車に乗つて家出した、行衛町播磨小路、御腕の兩所に木炭に角明年度から復活する様營林署に陳情することに決した。

### 納税表彰

鶴峯生

從來のやり来たった税務監督局と縣廳の納税優良者表彰の後を見るに、市町村の役場吏員を今日まで一人も表彰するに及ばない。又其當を得るものと思ふ。國民の三大義務として納税義務者があつて始めて収入税なり税金主任が其金を取扱ふのみならず、幹事を疎外して校たるの俸少なる小技のみを優待して出出したるものか、近時國稅を始め縣稅以下町村稅の未納者が頗る多数に上りあると聞くが、其原因を探究すれば余蘊の想像は或はあてはずれであるや、知る由なきも、二ツの理由より出發してゐる事と思ふ、第一は現時の不景氣たるは言へば後たぬ所であるけれども、第二は納税者が期間内に其都度チャンチャンと納めあるに何等の表彰も少しの賞言葉さもない。而も不眞面目に納税義務の觀念なき督促の五六回も受け過ぎたし、家は家財差押への處分を受けられる人々がむしる議員にもあられる市町村の名譽職にもありつくし、謂ふ變哲現象を來してあるやうに見受けられぬでもない、但し余のヒガメを、否故に納税の完結を望まば大根本たる吏員と共に納税義務者を表彰しては如何にや。

### 靈に捧ぐ

飯村 關舟

あきらめの手紙に添へし温かき言葉も今は夢ぞへにけり。もろもろの涙流して別るゝに寂しきの夜の月のほそかや。さよならと靈につぶやく君が胸の一人涙にかきへれにけり。ふたゝびを樂しかりにし生きたへを見るべくもなく近くもあはかり。

なぐさめる枕のよもこの花あはれ如く守ると聞くもいたはし一蓋をかたむけつゝも目の涙のうるはふものを如何にこらむべし。  
あきらめよ細きいのちの斷つることも常々の靈の永くもあれは。  
ほゞすりて甘へしことなぞ思ひつゝ遠ざかる君のはかなさに泣く。

<b>腸胃</b>	内科
十二指腸病	腸胃病
淋病	梅毒
婦人病	皮膚病
専門	専門
院醫科	院醫科
(七〇一話電)	(七〇一話電)

## 耳鼻咽喉科

平町仲田町七

### 合津醫院

電話五五九番

## 藤市蒲鉾店

平町字二丁目

例年の通り御下命御最負に預り度く願ひます。

電話三〇五番

佛國マルソー會社元詰

## 生葡萄酒

マルソー・アランク・白 1.10  
マルソー・ルージュ 赤

良品にして安價賣行飛ぶが如し

### 西村屋藥局

## 耳鼻咽喉科

### 氣管食道科

病室完備：自炊の便あり

平町南町 大和田醫院

電話一七〇番

### 北澤樂天全集豫約趣意書

秋もいよいよ深くなりおぼす心地よい時候になりまし。さて今回我國漫遊會の泰斗として獨自の境涯に漸然異彩を放たれてゐる北澤樂天先生が一世一代の仕事として試みられた「樂天全集」が左記の方法で一般愛讀者各位に頒たれることになりまし。各位も御承知の通り先生は昨年八月佛國大總統の後援によりフランス巴黎に於て先生の個人展覽會を開演され、亦引き繼ぎ英、米兩國に於て同展覽會を催し、之れが爲め歐米の全天地に非常な人氣を拍し、我國漫遊會の權威を海外に知らしめたのである。先生の畫想筆致には他の追従を容さぬ剛健の風刺、激刺さが畫面全体に溢れ、一讀一讀して人生の縮圖を爲し、社會の羅針盤を形成し、一讀一讀して一悶ごとく人生裡の内容が心行くまで無礙に展開されて行くのであります。實に之れ世を明るく愉快に所謂人生行路の指針とも云ひつべきであります。

秋は燈下讀むと云ふこと、此の時、此の際、この一大至寶「樂天全集」を應手に飾られる事は御家庭を一層明るく愉快に導く最も良き友ではないでせうか。此好機を見逃さず進んで御賛成御加入あらんことを切に御願ひいたします。

平町 賀澤 忠治

### 樂天全集頒布方法

全巻 拾貳冊

毎月一回 一冊配本十月(昭和六年九月終了)

代金は 金壹圓五拾錢

申込所 配本の際引替のこと

石城郡平町 賀澤 忠治 方

### 家庭染料

品質 本位

## みやび染料

平町一丁目

特店約 大平や藥店

電話六四二番

## 肺病助膜

### 不バ錠

專門藥

試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。

▲故に輕症期に於ける人々よ、直ちに服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。

▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。

▲説明書密送す、御申込あれ。

代理店 平町 山野邊藥局

五丁目角

## 外科

### 光線科

病室完備

平町南町

上田外科醫院

電話一二九番

## 男文平病氣の處

十月一日午後一時死去候間御通知に代へ辱知諸君に謹告候也

追て葬送は十四日午後三時當町勝行院に於て佛式相替申候

昭和五年十月二日

湯本町榮田 四

仲里顯太郎

## 藤沼醫院

平町紺屋町

電話平園五〇七番

内科 小兒科 (入院應需)

花柳病科